



小学校高学年《5・6年生》のみなさんへ

夏休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2017年版]

	書名 作者名 出版社	内容
絵本	「かき氷 天然氷をつくる」  細島 雅代 写真 伊地知 英信 文 岩崎書店	埼玉県で明治時代から続く、氷屋さん一家がつくる天然氷があります。 真夏にそれを、おいしいかき氷として食べる事ができるのは、真冬にひみつの技術で作るためです。 貴重な氷づくりを、写真でしようかいています。
絵本	「被爆者 60年目のことば」  会田 法行 写真・文 ポプラ社	被爆体験が遠い昔の歴史上の出来事などではなく、今もなお続く悲しい現実として、語りついでいる人たちがいます。 平和への願いをうたえながら広島・長崎に生きる6人の被爆者のことばを、彼らの写真と共にしようかいています。
図書	「三島由宇、当選確実!」  まはら 三桃 著 講談社	小学校児童会の副会長で学級委員もしている由宇は、政治家であるおじいちゃんの選挙運動を手伝うことに…。 投票をする意味や、たくさんの人の意見をまとめるむずかしさと向き合うようになります。 選挙の仕組みがわかる物語です。
図書	「零戦パイロットからの遺言」  原田 要 述 半田 滋 著 講談社	戦争はきれい、戦争は反対、という言葉では言いあらわすことさえできない真実があります。 元零戦パイロット・原田要さんが、その思いと体験を若い世代に向けて語ったインタビューを元に、当時の様子などの、かいせつを加えています。
図書	「べんり屋、寺岡の夏。」  中山 聖子 作 文研出版 □	美舟(みふね)の家は、「べんり屋」という家業を営んでいます。 売れない画家のお父さんを見ていると、夢を大きく持つよりも、コツコツ働いて地道に生きていこうと美舟は決めていました。 でも、「べんり屋」へ仕事をたのみに来る人たちには、さまざまな形の夢や幸せがありました。

	書名 作者名 出版社	内容
図書	「十五少年漂流記」  ひょうりゅうき 21世紀版少年少女 世界文学館 19 ジュール=ベルヌ 作 那須 辰造 訳 講談社	15人の少年たちを乗せた船が、大嵐で漂流し岸辺にたどりつきました。 少年たちが、どの島かもわからない土地で工夫を重ね、知識を生かしながら苦難を乗り越えていく、試練と成長の物語です。
図書	「光を失って心が見えた」  新井 淑則 著 金の星社	34才の時に病気でまったく目が見えなくなり、生きる希望さえ失った公立中学校教師の新井さんは、周囲の人たちに支えられながら復職を決意します。 もがき苦しみながらも、復帰するまでを自ら記しています。
図書	「世界一素朴な質問、宇宙一美しい答え」  ジェンマ・ エルウィン・ハリス 編訳 西田 美緒子 タイマ タカシ 河出書房新社	「ミミズを食べても大丈夫？」 「人はどうして永遠に生きていられないの？」 子どもたちが投げかけたさまざまな100の質問に、その分野の世界的な第一人者100人がやさしい文章で答えています。
図書	「ゲンタ!」  風野 潮 著 ほるぷ出版	転落事故をキッカケに、小学5年生のゲンタは、会ったこともなかった25才ミュージシャンのゲンタと、心と体が入れかわってしまいます。 小学生だと信じてもらえず、思いがけない事態になっていきますが…。
図書	「さくら猫と生きる」  今西 乃子 著 浜田 一男 写真 ポプラ社	これいじょう不幸な命を増やさないための手術をした印として、耳先をサクラの花びらの形にカットされた野良猫を「さくら猫」といいます。 街から殺しよぶんを無くすために活動する、千葉県の猫ボランティアの人たちです。